



～今号の内容～

- ・研究所ピックアップ
- ・お知らせ

研究所ピックアップ

【酪農研究部】「第61回自給飼料共励会「調製品の部」の集合審査を実施」

令和5年12月13日(水)に第61回自給飼料共励会「調製品の部」の集合審査が実施されました。近年、輸入飼料価格が高騰し先行き不透明な状況にあり、自給飼料の重要性が高まっております。本共励会は、自給飼料の生産技術の向上と効率的な利用技術の普及を目的として毎年開催されており、生産者の良質な自給飼料の生産・利用意欲の向上に寄与しています。

今年はおウモロコシ・ソルガムの高水分サイレージ、牧草の低水分サイレージやイネホールクroppサイレージが県内各地域から61点出品されました。本審査では審査員により刈取時期、香味や色沢などが評価され、今回の審査結果に酪農研究部の成分分析の評価を加え、最終審査が1月下旬に行われます。

なお、第61回自給飼料共励会褒賞贈呈式は令和6年2月29日に中濃総合庁舎で開催されます。



図1: 自給飼料共励会「調製品の部」集合審査の様子

【養豚・養鶏研究部】「生体種豚の譲渡を再開しました」

平成30年の豚熱によって失われたデュロック種豚「ポーノブラウン」について、ひとまず令和4年度までに種雄豚5頭、種雌豚5頭の種豚群を再造成することができました。

これにより県内養豚農家の皆様へ令和5年9月から生体種豚の譲渡を一部再開しました。

今後は豚舎整備に合わせ、種豚群を拡大しながら種豚「ポーノブラウン」の肉質を更に向上するとともに、各種豚疾病に対して抵抗性を示す強健性を付与する育種改良を推進し、養豚生産基盤の構築に寄与していきます。



図2:種豚譲渡の様子

【養豚・養鶏研究部】「環境エリアの稼働開始」

再編整備が進み、養豚・養鶏研究部の環境エリアが稼働しました。豚飼育頭数1000頭と鶏飼育羽数3000羽に対応し、排出される糞と汚水を処理できる設備を有しています。

汚水処理の施設は最新の設備を導入し、今後厳格化される水質基準に対応できるよう、BOD/N比を調整したり、負荷に応じて汚水投入ラインを切り替えたりできるようにしています。

また、たい肥処理やたい肥保管において生じる臭気を脱臭する装置も有しています。



図3:汚水処理施設(汚泥搾水機)



図4:密閉縦型発酵装置

お知らせ

畜産研究所ふれあい報告会の開催予定

今年度は下記のとおり3年ぶりに対面開催します。

1. 日 時 令和6年1月12日(金) 13:15~16:00 (13:00受付開始)
2. 場 所 可茂総合庁舎 5階大会議室
3. 内 容
 - (1) 開会あいさつ 13:15~13:25
 - (2) 研究成果発表会 13:30~14:45 (各研究部より1題ずつ発表)
 - (3) 休憩 14:45~14:55
 - (4) 講演会 14:55~15:55
 - (5) 閉会あいさつ 15:55~16:00

演題：飼料コスト低減に寄与するエコフィードの取り組み事例

講師：有限会社環境テクシス 代表取締役 高橋 慶 氏

【飛騨牛研究部】令和5年度第2回現場後代検定枝肉研究会の開催について

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の第2回を次のとおり開催します。

種雄牛：元景虎（もとかげとら）

日 時：令和6年1月29日（月） （枝肉参観） 9：30～10：45
（枝肉研究会） 11：00～12：00

場 所：飛騨ミート農業協同組合連合会

（枝肉参観） 食肉センター （枝肉研究会） 飛騨牛会館

岐阜県畜産研究所

ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164